

整形

著 書

- 1 浅見昭彦：舟状骨骨折の手術的治療のパス。整形外科のクリニカルパス 49-50。医学書院。東京。2003。
- 2 浅見昭彦：手根管症候群の手術的治療のパス。整形外科のクリニカルパス 51-52。医学書院。東京。2003。
- 3 浅見昭彦：肘部管症候群：絞扼性末梢神経障害—その診断と治療—。MB Orthopaedics 第16巻6号。20-26。全日本病院出版会。東京。2003。
- 4 佛淵孝夫：整形外科のクリティカルパス。医学書院。東京。2003。
- 5 佛淵孝夫：整形外科医のための周術期のポイント。メジカルビュー。東京。2003。
- 6 西川英夫，森澤佳三：特集：外傷性肩関節障害診断マニュアル 肩関節 SLAP 障害の治療。MB Orthopaedics 第16巻5号。114-118。全日本病院出版会。東京。2003。

学術論文

- 1 浅見昭彦，園畑素樹，石井英樹，鶴田敏幸：前骨間神経麻痺の臨床的検討—“くびれ”の形態からみた分類—。日手会誌 20(6)：726-730，2003。
- 2 *Furue H, Sonohata M, Ito A, Kawasaki Y, Baba H and Yoshimura Y: Progress in Pain Research and Management: VOLUME24 INTERNATIONAL ASSOCIATION FOR THE STUDY OF PAIN IASP PRESS. Proceedings of the 10th World Congress on Pain. 245-250, 2003.
- 3 *井手衆哉，伊藤 純，佛淵孝夫：人工膝関節置換術を施行した Coxitis Knee の検討。日本膝関節学会会誌 27：221-224，2003。
- 4 *釘崎 創，會田勝弘，森本忠嗣，重松正森，佛淵孝夫，西田圭介：特発性硬膜外脂肪腫症の3例。整形外科と災害外科 52(2)：266-271，2003。
- 5 北島 将，佛淵孝夫：ceramic on ceramic THA の臨床。関節外科 22(5)：85-89，2003。
- 6 *森本忠嗣，會田勝広，西田圭介，前田和政，佛淵孝夫：Hip-Spine syndrome 人工股関節置換術における腰痛の検討。整形外科と災害外科 52：356-360，2003。
- 7 *前田和政，古賀俊光，森本忠嗣，堤 幸彦，佛淵孝夫：80歳以上のセメントレス人工股関節全置換術。整形外科と災害外科 52(1)：35-38，2003。
- 8 *森本忠嗣，佐藤勝彦：必見 腰痛学 神経根ブロックによる診断法のコツ。骨・関節・靭帯 16：861-869，2003。
- 9 *大久保孝人志，王寺享弘，徳永真巳，宏洲士郎，吉本栄治，松田秀策：膝後十字靭帯及び内側側副靭帯合併新鮮損傷例の検討。整形外科と災害外科 52(2)：422-428，2003。
- 10 小河賢司，園畑素樹，石井英樹，浅見昭彦，佛淵孝夫：痛覚検査による指ブロック針刺入点の検討。整形外科と災害外科 52(2)：322-324，2003。
- 11 *角田憲治，重松正森，古賀俊光，堤 幸彦，佛淵孝夫：人工股関節全置換術後に発生したセラミックボール破損の一例。整形外科と災害外科 52(2)：376-380，2003。
- 12 °高山 剛，中尾俊憲，石井孝子，河野俊介：掌蹠膿疱症に脊椎炎を合併した一例。整形外科と災害外科 52(2)：402-405，2003。

学会発表

- 1 *芦原 愛, 西川英夫, 佛淵孝夫, 森澤佳三: 当院における腱板縫合の術後成績の検討. 第76回日本整形外科学会. 2003, 5, 24. 日整会誌 77(4): S615.
- 2 *芦原 愛: 関節外科における輸血の適応と選択. 第51回日本輸血学会. 2003, 5, 29-30. 抄録集.
- 3 會田勝広, 西田圭介, 森本忠嗣, 佛淵孝夫: 当院における化膿性脊椎炎33例の検討. 第76回日本整形外科学会. 2003, 5, 22. 日整会誌 77(3): S180.
- 4 會田勝広, 森本忠嗣, 西田圭介, 米倉 豊, 重松正森, 佛淵孝夫: 骨盤傾斜の評価法. 第76回日本整形外科学会. 2003, 5, 24. 日整会誌 77(4): S470.
- 5 荒 文博, 重松正森, 肥後たかみ, 北島 将, 佛淵孝夫: 高位脱臼性股関節症に対するセメントレスTHAの検討. 第30回日本股関節学会学術集会. 2003, 10, 30~31. 抄録集: 193.
- 6 浅見昭彦, 園畑素樹, 石井英樹, 佛淵孝夫, 鶴田敏幸: 前骨間神経麻痺の臨床的検討—とくに“しびれ”について— 第46回日本手の外科学会学術集会 2003, 4, 17-19. 日手会誌 20(1): S204.
- 7 浅見昭彦, 園畑素樹, 石井英樹, 染矢晋佑, 佛淵孝夫, 鶴田敏幸: 運動神経伝導速度からみた肘部管症候群術後の自然経過. 第76回日本整形外科学会学術集会 2003, 5, 22-25. 日整会誌 77(3): S99.
- 8 肥後たかみ, 重松正森, 北島 将, 荒 文博, 佛淵孝夫: THA後の異所性骨化—早期リハビリテーションの影響—. 第30回日本股関節学会学術集会. 2003, 10, 30-31. 抄録集: 240.
- 9 石井英樹, 浅見昭彦, 園畑素樹, 佛淵孝夫: 弾撥指を伴った手根管症候群の臨床的および組織学的検討. 第46回日本手の外科学会学術集会. 2003, 4, 18-19. 日手会誌 20(1): S32.
- 10 石井英樹, 浅見昭彦, 園畑素樹, 佛淵孝夫: 特発性手根管症候群における腱鞘滑膜の病理組織学的研究. 第76回日本整形外科学会学術集会 2003, 5, 22-25. 日整会誌 77(3): S311.
- 11 伊藤 純, 井手衆哉, 佛淵孝夫: 高齢者における両側同時人工膝関節置換術の検討. 第33回日本人工関節学会. 2003, 2, 22. 抄録集: 306.
- 12 伊藤 純, 井手衆哉, 佛淵孝夫: 高齢者における両側同時人工膝関節置換術の検討. 第28回日本膝関節学会. 2003, 3, 21. 抄録集 (シンポジウム): S16.
- 13 伊藤 純, 井手衆哉, 佛淵孝夫: 高齢者における両側同時人工膝関節置換術の検討. 第76回日本整形外科学会学術集会. 2003, 5, 24. 日整会誌 77(4): S586.
- 14 *井手衆哉, 伊藤 純, 佛淵孝夫: 同一施設内における人工膝関節置換術の標準化の試み. 第28回日本膝関節学会. 2003, 3, 22. 抄録集: 97.
- 15 *井手衆哉, 伊藤 純, 佛淵孝夫: 股関節疾患に伴う膝関節アライメント (Coxitis knee) の検討. 第76回日本整形外科学会学術集会. 2003, 5, 22. 日整会誌 77(3): S48.
- 16 北島 将, 會田勝広, 重松正森, 佛淵孝夫: 人工股関節置換術施行後の骨盤傾斜の影響. 第33回日本人工関節学会. 2003, 2, 22. 抄録集: 143.
- 17 北島 将, 重松正森, 肥後たかみ, 小河賢司, 佛淵孝夫, 杉原 甫: ヒト骨髄内脂肪細胞と皮下脂肪細胞の電顕的比較. 第35回日本臨床電子顕微鏡学会. 2003, 10, 29-31. 抄録集: 115.
- 18 北島 将, 重松正森, 會田勝広, 荒 文博, 佛淵孝夫: 人工股関節全置換術後の骨盤傾斜の影響. 第30回日本股関節学会. 2003, 10, 30-31. 抄録集: 100.
- 19 北島 将, 重松正森, 前田和政, 西古亨太, 佛淵孝夫: 高齢者のセメントレス人工股関節全置換術.

- 第76回日本整形外科学会学術集会. 2003, 5, 24. 日整会誌 77(4):S468.
- 20 北島 将, 重松正森, 小河賢司, 肥後たかみ, 佛淵孝夫, 杉原 甫: ステロイドによる大腿骨頭壊死症の発生幾序. 第18回日本整形外科学会基礎学術学会. 2003, 10, 16-17. 日整会誌 77(8): S1090.
- 21 *森本忠嗣, 菊地臣一, 佐藤勝彦, 大谷晃司: 腰仙部移行椎例における脊髓円錐下端の高位分布—MRIによる検討—. 日本脊椎脊髓病学会. 2003, 4, 5. 日本脊椎脊髓病学会誌 14: 392.
- 22 *Morimoto T, Kikuchi S, Sato K, Otani K: Variation of the termination level of conus medullaris in patients with lumbosacral transitional vertebrae. International Society for the Study of lumbar Spine. 2003, 5, 15. Abstract 309.
- 23 *森本忠嗣, 菊地臣一, 佐藤勝彦, 大谷晃司: MRIにおける馬尾の造影効果の臨床的意義—馬尾型間欠跛行を有する腰部脊柱管狭窄例での検討—. 第76回日本整形外科学会学術集会. 2003, 5, 23. 日整会誌 77(3): S173.
- 24 °Nakamura T, Kukita A, Kukita T, Shobuike T, Kohashi O: A histone deacetylase inhibitor, FR901228, suppresses differentiation osteoclasts but not into macrophages. International Bone and Mineral Society-Japanese Bone and Mineral Society 2003. 2003, 6, 3-7. IBMS-JSBMR 2003 Program and Abstracts JP-22.
- 25 小河賢司, 重松正森, 會田勝広, 佛淵孝夫: 急速破壊性股関節症の年代別頻度と骨盤後傾の比較検討. 第33回日本人工関節学会. 2003, 2, 21. 抄録集: 219.
- 26 小河賢司, 重松正森, 會田勝広, 佛淵孝夫: 急速破壊型股関節症の年代別頻度と骨盤後傾についての検討. 第76回日本整形外科学会. 2003, 5, 24. 日整会誌 77(44): S443.
- 27 小河賢司, 北島 将, 重松正森, 佛淵孝夫: 急速破壊性股関節症の周術期及び術早期の検討. 第30回日本股関節学会. 2003, 10, 30-31. 抄録集: 185.
- 28 重松正森: IONにおける脂肪細胞の役割に関する研究 第3報; ステロイド投与によるヒト骨髄内脂肪細胞径の変化. 平成14年下半年大腿骨頭壊死骨頭壊死班研究. 2003, 1, 19. 研究報告書: 42-44.
- 29 重松正森, 大橋寛憲, 北島 将, 佛淵孝夫: 当院における昨年1年間の人工股関節置換術症例についての検討. 第33回日本人工関節学会. 2003, 2, 22. 抄録集: 238.
- 30 重松正森, 荒 文博, 佛淵孝夫: 骨切り術後症例に対するTHAの検討. 第30回日本股関節学会. 2003, 10, 30-31. 抄録集: 182.
- 31 *園畑素樹, 古江秀昌, 佛淵孝夫, 吉村 恵: 脊髓後角の痛覚情報伝達に対するノルアドレナリンの作用. 第18回日本整形外科学会基礎学術学会. 2003, 10, 16-17. 日整会誌 77(8): 1173.
- 32 *園畑素樹, 古江秀昌, 吉村 恵: 脊髓膠様質痛覚伝達におけるノルアドレナリンの効果と細胞局在部位の解析—in vivoパッチクランプ法をもちいて—. 第80回日本生理学会大会. 2003, 3, 24-26. プログラム: 280.
- 33 *園畑素樹, 古江秀昌, 吉村 恵: ラット脊髓膠様質における痛覚伝達に対するノルアドレナリンの効果解析—in vivoパッチクランプ法を用いて—. 第26回日本神経科学大会. 2003, 7, 23-25. プログラム集: 74.
- 34 *Sonohata M, Furue H, Yasaka T, Take S, Yoshimura M: in vivo patch-clamp analysis of effects of noradrenaline on noxious and innocuous mechanical responses in substantia ger-

atinosa of the rat spinal cord. The Society for Neuroscience's 33rd Annual Meeting. 2003, 11, 8-12. FINAL PROGRAM 74.

- 35 *園畑素樹, 前田和政, 長嶺里美, 浅見昭彦, 佛淵孝夫: 腓腓内1回注入指神経ブロック法の効果発現機序の検討—腓腓内に注入された麻酔剤は効果を発現するのか—. 第46回日本手の外科学会学術集会. 2003, 4, 18-19. 日手会誌 20(1): S145.
- 36 *米倉 豊, 會田勝広, 森本忠嗣, 石井英樹, 釘崎 創, 西田圭介, 佛淵孝夫: 硬膜外脂肪腫症と診断された5例の検討. 第76回日本整形外科学会学術集会. 2003, 5, 22. 日整会誌 77(3): S162.
- 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	佛淵 孝夫	平成15年度厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症調査研究班(分担)	特発性大腿骨頭壊死症予防を目的とした疫学的病態生理学的遺伝学的総合研究	1,000

形成

学術論文

- 1 *三川信之, 林隆士, 下川尚子, 上村哲司: 脂肪髄膜瘤の皮膚症状の検討. 日形会誌 23(9): 543-549, 2003.
- 2 *三川信之, 大塚康二郎, 上村哲司, 土佐泰洋, 保阪善昭: 熱湯による食道熱傷の1例. 日本熱傷学会雑誌 29(2): 91-95, 2003.
- 3 Uemura T, Hayashi T, Satoh K, Mitsukawa N, Yoshikawa A, Suse T, Furukawa Y: Three-Dimensional Cranial Expansion Using Distraction Osteogenesis for oxycephaly. Journal of Craniofacial Surgery. 14(1): 29-36, 2003.
- 4 佐藤兼重, 鈴木啓之, 三川信之, 上村哲司, 保阪善昭: 小児 hemifacial microsonia に対する maxilla-mandibular distraction の中期経過. 形成外科 46(12): 1283-1292, 2003.

学会発表

- 1 *Mitsukawa N, Satho K, Uemura T, Hosaka Y: Evaluation Distraction Osteogenesis using PSG for obstructive sleep spnea syndrome. The 13th congress of the International confederation for plastic, reconstructive and aesthetic surgery. 2003, 8, 10. 抄録集 276.
- 2 巢瀬忠之, 上村哲司, 雑賀厚臣, 陣内卓雄, 原口 彰: 頭頸部再建マイクロサージャリーにおける recipient 吻合血管の選択に関する検討. 第46回日本形成外科学会総会学術集会. 2003, 4, 9. 抄録集 189.
- 3 雑賀厚臣, 上村哲司, 巢瀬忠之, 中村秀裕, 松本直純, 吉丸知歩: 顔面の静脈弁に関する解剖学的検索(第1報)特に顔面静脈について. 第12回日本形成外科学会基礎学術集会. 2003, 10, 9. 抄録集 84.
- 4 上村哲司, 巢瀬忠之, 雑賀厚臣, 鬼塚卓弥: 下眼瞼外反症に対する術式: Composite Zplasty の使